

運営推進会議議事録

事業所名	川俣ホームデイサービスセンター
開催日時	令和7年11月5日(水) 13時30分～14時30分
開催場所	川俣ホーム家族介護者教育室
参加者	利用者家族代表者 3名 市町村関係 2名 地域住民代表者 2名 事業所職員 4名 有識者 1名
議題	(1) 通所介護の利用状況、活動状況の報告 (2) 事故・ヒヤリはっと報告、苦情報告 (3) 地域サロンへ参加してみよう (4) 利用中の様子について (5) デイサービスの一日の流れ (6) 意見交換・質疑応答 (7) 次回運営推進会議日程について

(1) 通所介護の利用状況、活動状況の報告

<利用状況>

地域密着型通所介護（Ⅰ型）定員15名 認知症対応型通所介護（Ⅱ型）定員12名

○利用者数

		R7.4月	5月	6月	7月	8月	9月
	稼働日数	26日	27日	25日	27日	26日	26日
Ⅰ型	利用者延べ人数	278人	288人	266人	316人	290人	304人
	平均利用人数	10.7人	10.7人	10.6人	11.7人	11.2人	11.7人
	登録人数 (うち要支援・事業対象者)	36人 (6人)	34人 (4人)	33人 (4人)	33人 (4人)	33人 (4人)	33人 (4人)
Ⅱ型	利用者延べ人数	148人	132人	137人	142人	124人	128人
	平均利用人数	5.7人	4.9人	5.5人	5.2人	5.2人	4.9人
	登録人数 (うち要支援)	19人 (0人)	17人 (0人)	19人 (0人)	19人 (0人)	18人 (0人)	19人 (0人)

※事業対象者…「基本チェックリスト」の実施により、要支援（要介護）状態となることを予防するための援助を行なう必要があると該当した方のこと

○介護別登録者状況（令和7年9月現在）

	支援1・事業対象者	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計
Ⅰ型	1人	4人	11人	11人	6人	0人	0人	33人
Ⅱ型	0人	0人	0人	5人	6人	3人	5人	19人

※男女比（9月登録分）総数52人 男8人：女44人

○平均要介護度

Ⅰ型	1.6
Ⅱ型	3.4

○年齢別利用者状況（令和7年9月現在）

	60代	70代	80代	90代	100代	平均年齢
Ⅰ型	1人	2人	13人	17人	0人	89.07歳
Ⅱ型	1人	4人	4人	10人	0人	87.16歳

〈活動状況〉

月	デイの行事・行事湯	施設全体
4月	お花見、花見湯	新人研修、百歳賀寿祝式典、法人合同歓迎会
5月	運営推進会議、菖蒲湯	喀痰吸引等研修
6月	出前サロン、買い物ツアー、地域ケア会議、ミニ運動会、紫陽花湯	ちまき作り、歯科勉強会、キャラバンメイト養成研修、全体会、ケアマネ研修会、川俣高校企業説明会、職員クラブ総会
7月	曜日対抗ゲーム、ハーブ湯	苦情解決委員会、感染症BCP訓練、法人プリセプター研修、喀痰吸引等研修、管理職養成研修
8月	夏祭り、フヨウの花湯	特養芸能祭、認知症介護実践者リーダー研修、管理職養成研修、職員クラブ暑気払い
9月	敬老会、出前サロン、アザミの花湯	災害BCP訓練・炊き出し訓練、RUN伴、認知症サポーター養成講座、広報誌発行、敬老会、家族会

※毎月：「消防訓練」・「お誕生会」 ※定期的：デイ便り発行・居宅事業所訪問

(2) 事故・ヒヤリはっと報告、苦情報告（令和7年4月～令和7年9月）

〈事故・ヒヤリはっと報告〉 ※ヒヤリはっと…事故に至る前に未然防止した事象

事故件数 5件

ヒヤリはっと 9件

〈苦情報告〉

受付件数 0件

(3) 地域サロンへ参加してみて

この度、地域サロン4団体のご依頼を受け、各地区の集会所で認知症予防の話や、体操・レクリエーションなどを行いました。

参加された皆さんからは、「年をとると認知症になるのでは」「足腰弱くなって歩けなくなったらどうすればいいのか」という不安の声がある一方で、「予防できるなら体操でも何でも頑張りたい」という前向きな声も聞かれました。

認知症予防の方法や介護保険サービスを利用するための流れについては、質問も多く、皆さんとても興味を示されていました。

今後も、地域の皆さんが住み慣れた自宅で安心して生活できるよう、予防や健康づくりの支援を続けてまいります。

(4) 利用中の様子について

ご利用者の利用中の様子や楽しみの一つとしている外出行事等の報告を行ないたいと思います。

※別紙資料にて報告。

(5) デイサービス一日の流れ

デイサービスの職員の一日の流れを動画にしてみました。

※スクリーンにて動画視聴。

(6) 意見交換・質疑応答

○【地域代表 N 様】 相談援助事故について。連絡帳の返却忘れの要因の中で、マニュアルがあったが、帰宅時間が迫っていたため怠ってしまったと記載されているが、それはとても難しい問題だと思いました。どのように対策を取っていくか。時間が迫っていたから怠っているとは、言い訳にならないのか。時間が迫っているからやれなかったということが通ってしまうと、全て同じような対策になってしまうのではないかと思います。

【事業所】 おっしゃる通りです。忙しさにかこつけてできなかった、やれなかったは言い訳になることだと思います。やはり、一人ひとりの責任もついて回るのかと思います。しかしながら、送迎においては利用者一人ひとり対応も様々で、朝も帰りも事前に把握、準備も必要です。対応すべきことが多い分、その職員だけの責任でもないと考え、では逆に、どういう所を意識して取り組んでいけば良いかアドバイス頂きたいです。

【地域代表 N 様】 アドバイスになるかどうかですが、徹底した訓練。同じことを何回も何回も繰り返し訓練することで身につけていくと思います。

【事業所】 繰り返し訓練していくことで、職員も定着できれば良いと思います。貴重なアドバイスありがとうございました。

○【有識者 T 様】 先程の相談援助事故という言い方はとても重たく圧があるイメージ。事故というよりは、ミスという言い回しでも良いのではないかと思います。一日の職員の流れの動画を視聴しましたが、おそらくあの動画は皆さんの仕事の中のほんの一部でしかなく、むしろそれ以外の仕事も計り知れないほどあるのではないかと。相談業務、利用者家族の応対事故や苦情など色んな業務を重ねているが故におきたミスではないかと個人的にはそう思います。サービス提供時間内で、どれだけご利用者を安全、安心にご自宅まで送り届けられるかが最大の使命だと思います。大変忙しいと思いますが、今後も継続して頑張ってください。

【事業所】 T様がおっしゃるように、やはり突発的なハプニングやイレギュラーなことが重なる時もあります。そういう中でも、一番はご利用者様が安全・安心に利用を継続できることが一番重要で、そこが優先だと思っています。そのために常日頃アンテナを張りながら対応しています。それ以外の枝葉の部分に関しても優先順位を決めながら対応にあたっています。

○【市町村関係 A 様】 送迎等のマニュアルはあるのですか？

【事業所】 送迎マニュアルはありますが、利用者それぞれ対応も様々でご家族不在の方、一人暮らしの方も多いためその方の対応については、チェックリストを作成しており、それを送迎表に挟み、チェックリストを確認しながら対応に当たっています。

【市町村関係 A 様】 職員の一日の流れの動画は文書で見るより映像の方が職員や利用者の雰囲気も分かりやすく、利用したい方などにぜひ見せたいくらいだと思います。タブレット等で持ち運びして見せると凄く良いと思いました。

出前サロンはどのような形で依頼がくるのでしょうか？

【事業所】 動画の件ありがとうございました。ぜひ、今後も活用していきたいです。出前サロンに関しては、前回もお話させて頂きましたが、昨年度川俣町社協主催のサロン交流会に参加させて頂き、そこでぜひデイサービスも地域の皆さんに何か還元できな

いかと発信させて頂きました。社協に直接依頼の連絡が入り、そこから私達が各サロンの代表者と直接やり取りをし、出向いているといった流れです。

○【市町村関係 S 様】 資料の 1 ページに記載されている利用状況、活動状況において、一日の利用者数だけでなく、それに対応する一日の職員数や勤務体制等も分かると尚良いのではないかと思います。動画を視聴して、改めて分かったことも多く、なるほどだなと感じた面も多かったのですが、それをみて思ったことは、タイムスケジュールも分かるように時間を載せても良いのではと思います。早番や遅番業務があり、それによって一日サービスを提供しているのだということも、知ってもらえたら良いのではないかと思います。次回作成する時はそこも入れて頂けたら嬉しいです。

事故報告書の再発防止策において、「確認する」や「目視して確認する」など、確認作業が多く取り上げられていましたが、誰が何を確認するか等は決まっているのだと思いますが、複数のスタッフでやっている、「誰かがやるだろう」「誰かがきっと見ててくれるだろう」等とつい確認作業が怠ってしまうこともあるかと思います。そういうことがないように、声出し確認や、指差し確認、職員間でのコミュニケーションも図りながらやることで、もっと事故を防げるのではないかと思います。

地域サロンの活動は凄く良い事だと思います。ちなみに、どのくらいお話しや活動をしてくるのでしょうか？

【事業所】 だいたい、1 時間～2 時間くらい行ってきます。各サロンの方もフルに時間を使って下さいとおっしゃって下さるので。流れと致しましては、まずは、皆さんにお配りする資料の説明や川俣ホームの説明等をし、デイサービスも知って頂く機会を設けています。併せてデイサービスでやっている、認知症予防体操やミニレクを実際に体験してもらい、最後は認知症予防の話や、介護保険サービスを使うまでの流れなどを説明し、皆さんからの質疑応答の時間も加わると結構な時間になります。認知症予防の話や介護保険サービスの話は特に皆さん興味を持たれていて、熱心に聞いて下さる方が多いです。

【市町村関係 S 様】 これからも頑張ってください。町の方でも、介護保険申請したい方の殆どが、施設入所を希望される方が多く、認知症が酷くなり在宅での生活は無理という家族が多い傾向です。しかし、ご本人としてはいきなり施設入所となると困惑したり、抵抗したりするでしょうから、まずは申請したあとはデイサービスや在宅サービスを活用してもらって、施設の雰囲気や職員の顔等を覚えてもらってから入所に至った方が良いとご家族様には伝えてあります。川俣町の現状としては、高齢者の割合は今まで同様高いが、人口の減少に伴い高齢者数は年々減ってきています。施設待機者も実は減ってきています。ただ、従来型の川俣ホームは人気があり、ホームを希望する方が多いです。人によっては個室より 4 人部屋の方が寂しくなくて良いという方も多いので、そういう所でも人気なのかと思います。これからも引き続き頑張ってくださいと思います。

【事業所】 こちらこそ、宜しくお願い致します。

○【地域代表 T.K 様】 私もサロンの代表を務めているのですが、今までは町役場の方から情報を聞いて年間計画を経ていたのですが、川俣ホームさんでもそういう活動をしているということを今日知ったので、来年度はぜひ年間計画に入れさせて下さい。

【事業所】 ぜひよろしくお願い致します。

○【利用者家族 K.S 様】 私の若い頃の職業が身体に障害がある方の授産施設と重度障害者授産施設、寮母施設でしたので、とても懐かしく動画を見させて頂きました。また、事故・ヒヤリはっと報告書を見て、自分は間違いなく全部やるなと思いました。だからこそ、細かい配慮が必要なのだなと改めて思いました。日々忙しい中でやっていたので、事故は度々ありました。留置カテーテル抜去は私もしたことがありました。ただ、入浴のシャワーのお湯の件については、自分が出しっぱなしで他の職員に引き継ぐことはしないかなと思いました。なぜなら、いつも事故を起こしてしまう側だったので、間違い側に常に立っていたので。でも、日々の事故とは紙一重で気をつけていてもやはりチームワークの落とし穴もあるし、本当に大変だなと思います。いつも本当にご苦労様です。

【事業所】 ありがとうございます。

○【利用者家族 S.M 様】 一日の流れを拝見し、本当に大変な仕事だなと思い感謝しています。義理の母にとってデイサービスは楽しくて、楽しくて、デイサービスに行かない日もまだ迎えに来ないのかと、ホームさんに何回も電話をし迷惑をかけているのではないかと思います。それだけ義理の母にとってデイサービスは生きがいで、そういうのがあるということがとても良いなと思います。自宅に帰ると寂しい、寂しいと言っているが、ホームに行けば楽しいことが待っている。そういう繰り返しが本人にとって良い刺激になっているのではないかと思います。家族でもできないことをやって頂いて本当に感謝しかありません。これからもよろしく願います。

【事業所】 ありがとうございます。

○【利用者家族 K.Y 様】 自宅で運動をさせることがなかなかできない中、デイサービスに行くと、運動をする機会を提供してくれるので、それがとても助かっています。認知症というのは治る病気ではないので、何とか現状維持を保ってもらいたいと思っているが、デイサービスに通うことでそれがある程度維持できているのがとてもありがたいです。それと、最近送迎の運転手さんがとても親切で、朝夕の対応時、添乗職員さんと一緒に対応にあたって下さるのですが、それによって送迎の乗り降りの時間もずいぶん短縮し助かっています。この場を借りて感謝申し上げます。

【事業所】 ありがとうございます。

貴重なご意見ありがとうございます。皆様から頂いたご意見の中で、すぐに対応できるもの、一度持ちかえってスタッフ間で話し合うべきこと、色々頂けたかと思えます。今後、より良いサービスが提供できるよう努めて参りたいと思えます。

(7) 次回運営推進会議日程について

令和8年5月頃予定